Today I'm going to tell you about my homestay experience in Ireland.

Last summer, I went to Ireland to study English.

I stayed at Mr. and Mrs. O'Brien's house for about four weeks. オプライエン (アイルランド系の姓)

It was a sunny Saturday afternoon when I met my host mother, Mrs. O'Brien, 時を表す it ~するとき

at their house for the first time.

I was very nervous at that time because I thought my English wasn't  $^{heg}$ 

good enough.

十分に上手な

But she was very kind and friendly to me.

She talked a lot and asked me about my trip.

"Welcome to Ireland, Sayaka! How was your trip from Japan?

It took a long time, right? How many hours did it take? Fifteen hours?

Wow! You must be tired. Come and sit here."

It was a great English lesson.

授業

Then Mr. O'Brien and their daughter Jane came into the room.

Mr. O'Brien spoke American English because he lived in the United speak の過去形 ~だから

States when he was young.

~するとき

So his English was easier for me.

However, Jane, my sixteen-year-old host sister, spoke English with a strong

Irish accent.

アイルランドなまり

During the first week of my stay, I couldn't understand her English.

But I soon got used to her English and we became good friends.

Jane likes to read Japanese comics, so I showed her my favorite one

今日は、アイルランドでの私のホームステイ体験についてお話ししたいと思います。

この前の夏, 私は英語を勉強するためにアイルランドに行きました。

私はオブライエン夫妻の家に約4週間滞在しました。

ホストマザーのオブライエン夫人に彼らの家ではじめて会ったときは、晴れた土曜日の午後でした。

私はそのとき、自分の英語が十分に上手ではないと思っていたので、とても神経質になっていました。

でも、彼女は私にとても親切で好意的でした。

彼女はよくおしゃべりし、私に旅行のことをたずねました。

「アイルランドへようこそ、さやか! 日本からの旅行はどうだった?

長旅だったでしょう? 何時間かかったの? 15時間?

まあ! 疲れたでしょう。こっちに来て座りなさい。」

それはすばらしい英語の授業でした。

そのとき、オブライエン氏と彼らの娘のジェーンが部屋に入ってきました。

オブライエン氏は若いときアメリカに住んでいたので、アメリカ英語を話しました。

だから, 彼の英語は, 私にはより簡単でした。

けれども、16 歳のホストシスターであるジェーンは、強いアイルランドなまりの英語を話しま した。

滞在の最初の1週間,私は彼女の英語が理解できませんでした。

でも私はすぐに彼女の英語に慣れ、私たちはよい友達になりました。

ジェーンは日本のマンガ本を読むのが好きなので、私は彼女に自分の大好きなマンガを見せ、

and we talked about it.

We also went shopping and watched movies after school.

(She had no school, but I went to an English school in the morning.)

Sometimes I had dinner at a small restaurant with my host family, but usually

Mrs. O'Brien cooked our meals.

I enjoyed Irish food such as Irish stew and soda bread.

~のような シチュー ソーダブレッド (イースト酸のかわりに量) 曹を使ったパン)

One day, when I came home from school, I saw many balloons in  $\sim$ するとき 風船

the house.

Suddenly Jane and my friends came out and said, "Happy Birthday!"

Yes. It was my fourteenth birthday.

I was very surprised and I felt very happy.

I decided to cook Japanese food for my host family.

On the last Saturday of my stay in Ireland, I made a special dinner for them.

I cooked rice, miso soup, and nimono.

They liked Japanese food very much, especially miso soup.

On the last day, they came to the airport to see me off.

I couldn't stop crying because I thought they were like my own family.

I felt really sad. However, Jane said, "Don't worry, Sayaka.

I'll go to Japan to see you next spring." That will be great!

Now, I'm just waiting for the spring vacation.

それについて二人でおしゃべりしました。

私たちは放課後、買い物や映画にも行きました。

(彼女は授業がなかったのですが、私は午前中、英語の学校に行っていたのです。)

ときどき,私はホストファミリーといっしょに小さなレストランで夕食をとりましたが,ふつうはオブライエン夫人が私たちの食事を料理してくれました。

私はアイリッシュシチューやソーダブレッドといったアイルランドの食べ物を楽しみました。

ある日、学校から帰ってきたとき、私は家の中でたくさんの風船を目にしました。

突然、ジェーンと私の友達が出てきて言ったのです。「お誕生日おめでとう!」

そうです。その日は私の14回目の誕生日でした。

私はとても驚いて、とてもうれしい気持ちでした。

私はホストファミリーのために日本食を料理しようと決めました。

アイルランド滞在の最後の土曜日、私は彼らのために特別な夕食をつくりました。

私は、ご飯とみそ汁、煮物をつくりました。

彼らは日本食、特にみそ汁をとても気に入ってくれました。

最後の日、彼らは空港まで私を見送りに来てくれました。

私は、彼らを自分自身の家族のように思っていたので、涙が止まりませんでした。

私はとても悲しい気持ちでした。けれどもジェーンが言いました。「くよくよしないで、さやか。

次の春, 私があなたに会いに日本に行くわ。」 それはすばらしいことでしょう!

今, 私は春休みをひたすら待っています。

2月10日

February 10

Dear Jane,

How's everything?

Are you doing all right in your Japanese class?

Today, I got some big news. Guess what? ... My parents said YES!

When you come to Tokyo, you can stay with my family.

~の家に滞在する

I'll be your host sister this time.

You can use my brother's room because he's going to start[begin] his new life  $\sim E \mathcal{D} \mathcal{D}$ 

in Osaka.

See you soon in Tokyo!

Love, Sayaka

ジェーンハ

元気ですか?

日本語のクラスでは順調にいっていますか?

今日は大事なお知らせがあるの。何だと思う? …両親がいいって言ってくれたの!

あなたは、東京に来たとき私たちの家に泊まることができるのよ。

今度は私があなたのホストシスターになるの。

あなたは兄の部屋を使っていいのよ。兄は大阪で新しい生活を始める予定だから。

では、東京でね!

さやかより